

第 36 回 FMMC 研究会のご案内(オンライン開催)

一般財団法人マルチメディア振興センター FMMC 研究会事務局でございます。

第36回は、講師に、駒澤大学 経済学部准教授 井上 智洋様をお迎えして、下記の日程で開催することといたします。皆様のご参加お待ちしております。

記

1. 講師

井上 智洋 様 駒澤大学 経済学部准教授

2. 講師の略歴

駒澤大学経済学部准教授、慶應義塾大学 SFC 研究所上席研究員。博士(経済学)。2011年に早稲田大学大学院経済学研究科で博士号を取得。早稲田大学政治経済学部助教、駒澤大学経済学部講師を経て、2017年より同大学准教授。専門はマクロ経済学。特に、経済成長理論、貨幣経済理論について研究している。最近は人工知能が経済に与える影響について論じることが多い。著書に『人工知能と経済の未来』『メタバースと経済の未来』(文芸春秋)、『AI時代の新・ベーシックインカム論』(光文社)、『純粹機械化経済』(日本経済新聞社)、『MMT』(講談社)、『「現金給付」の経済学』(NHK出版)、『AI失業』(SBクリエイティブ)などがある。

3. テーマ「AIはビジネス・働き方をどう変えるか？」

2016年頃の第三次AIブームでは、AI技術の中でも特に画像認識が有力視されており、小売、物流、建設、農業、製造業などの場での活用が期待されていました。そうした活用は今でも進められていますが、2023年頃に突如して訪れた第四次AIブームでは、文章、画像、動画などを作る「生成AI」が、ホワイトカラーの仕事全般を抜本的に変革するようになりました。書類やプレゼン資料、メール文章、広告、報告書、プログラムの作成、顧客対応などの自動化・効率化が図られるようになってきているのです。さらには、「AIエージェント」が、人間の代わりにメールを返信したり、電話対応したり、オンライン会議に出たりするような取り組みまで成されています。これからの労働者は、スキルや知識ではなく、AIを使ってアイデアを形にする「ディレクション力」が強く求められるようになります。このように本講演では、AIによってビジネスのあり方、企業のあり方、労働者の働き方がどう変わっていくのかを分かりやすくお話しします。

4. 日時 2024年10月17日(木) 15時から16時30分頃まで

(60分の講演と30分程度の質疑応答を予定しています。)

5. 開催方式 Zoomによるオンライン開催 ※参加費無料

6. 参加申込み方法

以下のリンク先から、10月15日(火)までにお申し込みください。

※複数名ご参加の場合、必ず全員分の申込みをお願いします。

※当日までに視聴用 URL が受信されていない場合は事務局へご連絡ください。

参加申込 <https://www.fmmc.or.jp/activities/kenkyukai/fmmckenkyu/tabid385.html>

ご記入いただきました個人情報については、当財団の「個人情報保護に関する基本方針」

<https://www.fmmc.or.jp/policy/> を遵守し、適正な取り扱いをいたします。

ご覧頂き、同意いただいた上でお申し込みください。

【お問い合わせ先】事務局:宇高・雨宮 電話:03-6704-5551 メール:seminar@fmmc.or.jp